

### 第1回航空宇宙特別委員会(講演会)

9月30日(金)、第1回航空宇宙特別委員会(講演会)を開催、委員長の大島副会長はじめ36名が参加した。



大島委員長からの挨拶に続き、民間飛行機産業では日本企業の参入が限定的なシステム(装備品)分野について、MRJシステム(装備品)を海外パートナーとともに開発されて

いる三菱航空機(株)技術本部主幹技師の吉田裕一氏を講師に迎え、「航空機システム(装備品)の現状と展望」をテーマにご講演いただいた。

吉田氏は、機体メーカーは最終のシステムインテグレートに苦勞していることを、自身の経験談も交え興味深く説明され、「日本の部品サプライヤはシステムサプライヤへの飛躍を行い、さらなる受注拡大を」とエールを送った。

委員からは「今後航空機産業を伸ばしていくには、オールジャパン体制で協力し合って進めることが肝要」等の意見が出された。



ご講演いただいた三菱航空機(株)の吉田裕一氏

講演後、事務局から平成28年度活動状況と今後の計画報告とともに、本委員会の来年度以降の活動に期待することについて、ご意見・ご要望の提出を依頼して閉会した。

(産業振興部 加藤 信彦)

### 第1回経済委員会

10月4日(火)、第1回経済委員会を開催、委員長の水野副会長はじめ45名が参加した。



会の冒頭、水野委員長が「わが国経済はサービス産業の比率が高まっており、製造業と比較すると労働生産性は低いとの指摘がある。従って、今年度はサービス産業の生産性に着

目をした『中部圏のサービス産業の稼ぐ力の向上』をテーマとする政策提言を行いたい」と挨拶を述べた。

次いで、中村専門委員長((株)三菱東京UFJ銀行経営企画部経済調査室上席調査役)および事務局より「検討の進め方(案)」について説明を行い、審議に移った。委員からは「サービス業のどこに問題点があるのか深く研究してほしい」「サービスの提供側のみならず、受ける側のニーズも踏まえた調査を行ってほしい」など活発な意見が出され、その後、原案は了承された。



続いて、一橋大学経済研究所教授の深尾京司氏を講師に迎え、今年度のテーマにちなみ「サービス産業の生産性と中部経済圏」をテーマにご講演いただいた(本誌12月号に講演要旨を掲載予定)。

(調査部 井川 佳明)